



## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東  
コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 渡邊 太門  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 (氏名) 木村 香代子 TEL 03-5342-1142  
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 2024年6月12日  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期第3四半期の業績(2023年7月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	12,413	9.5	902	31.8	1,075	76.9	717	72.8
2023年6月期第3四半期	11,340	13.7	684	108.6	607	86.1	415	87.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	134.12	—
2023年6月期第3四半期	79.19	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第3四半期	20,112	9,348	46.5
2023年6月期	18,307	9,301	50.8

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 9,348百万円 2023年6月期 9,301百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	20.00	20.00	20.00	80.00	140.00
2024年6月期	30.00	30.00	30.00		
2024年6月期(予想)				50.00	140.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 2023年6月期期末配当金の内訳 普通配当 60円00銭 特別配当 20円00銭

※ 2024年6月期(予想)につきましては、合計で140円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしております。第4四半期の支払額については50円00銭を予定しておりますが、修正の必要が生じた場合には、速やかにご報告させていただきます。

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	8.6	2,350	7.3	2,470	17.5	1,700	5.4	316.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期3 Q	5,500,000株	2023年6月期	5,500,000株
2024年6月期3 Q	153,218株	2023年6月期	223,518株
2024年6月期3 Q	5,350,662株	2023年6月期3 Q	5,244,277株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）2020年ESOP信託、2022年ESOP信託、2024年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(持分法損益等) .....	9
3. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、21世紀の日本を代表する『知識集約型企業』をありたい姿としており、社会とともに目指す未来像・方向性として、ソート (Thought) 「Innovating for a Wise Future」を掲げております。このソートには、「工学知」をベースにした有益な技術を社会に普及させることで、より賢慮にみちた未来社会を創出していきたいという思いを込めております。この実現に向けて、Professional Design & Engineering Firmとして工学知に裏付けられた高付加価値なサービスを提供し続けることを目指して、経営を推進しております。

当事業年度においては、『ありたい姿』の実現と2056年の『創業100周年』に向けて持続的成長を遂げていくために、既存事業の再成長や新たな体制構築に向けた地固めを加速することを方針としており、当社の重要な経営指標である総付加価値（総人件費＋営業利益）の5.2%の成長を計画しております。当第3四半期累計期間はこの計画に沿って、着実に売上高を積み上げることができ、利益も堅調に推移しました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減率 (%)
受注高	12,323	13,204	+7.2
売上高	11,340	12,413	+9.5
売上総利益	5,285	5,934	+12.3
営業利益	684	902	+31.8
経常利益	607	1,075	+76.9
税引前四半期純利益	582	1,075	+84.8
四半期純利益	415	717	+72.8

当第3四半期累計期間においては、前事業年度から繰り越された受注残高に加え、エンジニアリングコンサルティングの着実な進捗、及びプロダクツサービスにおけるクラウドサービスの成長に支えられ、売上高は前年同四半期累計期間に比して約11億円上回る結果となり、利益も前年同四半期を上回っております。

受注残高に関しては、前年同四半期末を上回る79億87百万円（前年同四半期末は78億54百万円）を確保しており、当事業年度末及び来期に向けて引き続き受注獲得に努めてまいります。

当社では多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて成果品の引き渡しが集中することから、上期では利益を伴わない原価回収基準の売上割合が高く、利益を伴う完成基準の売上は下期に集中する傾向にあります。そうした状況を踏まえ、第4四半期会計期間においても、期初に公表した通期業績予想の達成に向けて、引き続き高い品質への意識のもと、着実に案件を遂行してまいります。

当第3四半期累計期間のセグメント別の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	エンジニアリングコンサルティング			プロダクツサービス		
	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減率 (%)	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	増減率 (%)
受注高	8,029	8,279	+3.1	4,294	4,925	+14.7
売上高	7,165	7,693	+7.4	4,174	4,720	+13.1
売上総利益	3,712	4,138	+11.5	1,573	1,795	+14.1
売上総利益率 (%)	51.8	53.8	—	37.7	38.0	—
受注残高	6,075	5,855	-3.6	1,779	2,131	+19.8

(エンジニアリングコンサルティング)

当第3四半期累計期間においては、前事業年度末から繰り越された案件及び今期獲得した受注案件を着実に遂行し、完了した案件の売上計上が進んだことで、前年同四半期累計期間を上回る売上高、利益となりました。引き続き徹底した品質管理による案件の確実な遂行により、通期業績予想の達成に向けて邁進するとともに、翌事業年度に向けて更なる受注獲得に努めてまいります。

(プロダクツサービス)

当第3四半期累計期間においても、引き続きクラウドサービス提供型ビジネスが売上成長をけん引しました。学校開放の流れ等を受けて、クラウド型入退室管理プラットフォーム (RemoteLOCK) の自治体への導入が順調に進み、導入自治体数は90を超えています。クラウドサービス提供型ビジネスは、主にサブスクリプションビジネスのため受注残高には含まれておりませんが、解約率も低く、多くの継続利用が見込まれるため、今後も安定した売上貢献が見込まれます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて16.7%増加し、81億16百万円となりました。これは、主に受取手形・売掛金及び契約資産が12億21百万円、前払費用が1億31百万円増加したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて5.7%増加し、119億96百万円となりました。これは主にその他に含まれる建設仮勘定が1億35百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて9.9%増加し、201億12百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて6.6%増加し、60億71百万円となりました。これは、短期借入金が11億円、前受金が5億69百万円増加する一方、未払費用が14億38百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて41.8%増加し、46億92百万円となりました。これは、主に長期借入金11億95百万円、退職給付引当金が1億20百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて19.5%増加し、107億63百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて0.5%増加し、93億48百万円となりました。これは、主に自己株式(控除項目)が96百万円減少した一方、利益剰余金が46百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、2023年9月7日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,906	1,335,103
受取手形、売掛金及び契約資産	2,780,628	4,001,684
半製品	241,641	346,149
仕掛品	22,619	110,095
前渡金	669,508	613,817
前払費用	777,634	909,416
その他	62,951	800,121
貸倒引当金	△119	△112
流動資産合計	6,954,771	8,116,275
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,091,846	2,109,560
土地	3,204,301	3,204,301
その他（純額）	131,137	283,296
有形固定資産合計	5,427,285	5,597,158
無形固定資産		
ソフトウェア	366,017	323,800
その他	12,073	12,048
無形固定資産合計	378,091	335,849
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777,927	2,734,926
その他	2,814,943	3,372,576
貸倒引当金	△45,149	△43,899
投資その他の資産合計	5,547,721	6,063,603
固定資産合計	11,353,098	11,996,610
資産合計	18,307,870	20,112,885
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	365,509	446,071
短期借入金	-	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	908,420	622,540
1年内償還予定の社債	50,000	-
未払金	628,742	344,325
未払費用	1,750,716	312,334
前受金	1,197,249	1,766,667
賞与引当金	-	1,145,844
役員賞与引当金	-	77,290
受注損失引当金	1,473	531
その他	795,434	256,032
流動負債合計	5,697,546	6,071,638

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	650,000	1,845,000
株式報酬引当金	226,508	277,066
退職給付引当金	2,316,345	2,436,389
役員退職慰労引当金	20,540	20,540
資産除去債務	94,780	95,166
その他	453	18,125
<b>固定負債合計</b>	<b>3,308,628</b>	<b>4,692,288</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,006,174</b>	<b>10,763,927</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,353,082	1,367,412
利益剰余金	7,121,309	7,074,977
自己株式	△613,764	△517,609
<b>株主資本合計</b>	<b>8,870,827</b>	<b>8,934,980</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>430,868</b>	<b>413,978</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>430,868</b>	<b>413,978</b>
<b>純資産合計</b>	<b>9,301,695</b>	<b>9,348,958</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,307,870</b>	<b>20,112,885</b>



(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	11,340,318	12,413,473
売上原価	6,054,945	6,479,107
売上総利益	5,285,373	5,934,365
販売費及び一般管理費	4,601,021	5,032,265
営業利益	684,351	902,100
営業外収益		
受取利息	550	1,502
有価証券利息	2,123	-
受取配当金	1,715	2,020
投資有価証券運用益	-	158,034
その他	7,326	29,285
営業外収益合計	11,716	190,842
営業外費用		
支払利息	11,353	13,607
社債利息	469	100
コミットメントフィー	3,698	3,600
投資有価証券運用損	66,636	-
その他	5,949	169
営業外費用合計	88,108	17,478
経常利益	607,959	1,075,465
特別利益		
投資有価証券売却益	-	705
特別利益合計	-	705
特別損失		
投資有価証券評価損	25,805	-
会員権評価損	-	404
特別損失合計	25,805	404
税引前四半期純利益	582,154	1,075,765
法人税、住民税及び事業税	166,822	305,062
法人税等調整額	23	53,024
法人税等合計	166,845	358,086
四半期純利益	415,309	717,679

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	1,136,750	1,150,962	2,287,712	-	2,287,712
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	6,029,110	3,023,495	9,052,606	-	9,052,606
顧客との契約から生じ る収益	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,165,861	4,174,457	11,340,318	-	11,340,318
セグメント利益	2,142,237	691,227	2,833,465	△2,149,113	684,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,149,113千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
一時点で移転される財 又はサービス	1,136,338	1,112,169	2,248,507	-	2,248,507
一定の期間にわたり移 転される財又はサービ ス	6,557,033	3,607,931	10,164,965	-	10,164,965
顧客との契約から生じ る収益	7,693,372	4,720,100	12,413,473	-	12,413,473
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	7,693,372	4,720,100	12,413,473	-	12,413,473
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,693,372	4,720,100	12,413,473	-	12,413,473
セグメント利益	2,538,159	746,582	3,284,741	△2,382,641	902,100

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,382,641千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	880,812千円	1,585,079千円
持分法を適用した場合の投資の金額	27,912千円	377,959千円
	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△299,830千円	△349,104千円

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,619,708	103.4
プロダクツサービス	2,947,816	113.2
合計	6,567,525	107.6

(注) 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

## (2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	8,279,305	103.1	5,855,876	96.4
プロダクツサービス	4,925,402	114.7	2,131,735	119.8
合計	13,204,708	107.2	7,987,612	101.7

(注) 金額は販売価額によっております。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	7,693,372	107.4
プロダクツサービス	4,720,100	113.1
合計	12,413,473	109.5